



池土木発 第 33 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長
金井 道夫 様

池田市長 倉田



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付けの国道企第37号で依頼のありました標記の
件につきましては別紙のとおり回答しますので宜しくお願い致します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大阪府池田市

1. 道路、街路については、計画的かつ着実な整備を図るため、事業費の確保及び市町村道路における国庫補助負担事業の採択基準の緩和 並びに補助金制度の緩和を要望する。
2. 今までの地方道路整備臨時交付金制度をさらに地方の自主性・裁量性をもたせ、地域生活に密着した道路整備を行うために地方の自由度を拡大するような改革、ソフト事業への充実も含め、地方の実情に応じて使える交付金として 制度の存続を要望する。
3. 高齢化する道路構造物等が増大することを踏まえ、地域の生活と安全を守るために、既存道路の計画的な維持管理、橋梁の延命化対策等に必要な財源の確保。 また 市町村に対し維持補修に係る補助金制度の拡大を要望する。

②ー1 地域の現状と抱える課題

大阪府池田市

○現状

1. 都市機能の根源となる道路については、都市の骨格を形成し、市域の軸となる都市計画道路の整備を図るとともに、市民生活と密着した関連をもつ地域生活道路の整備を進めてきた。
2. まちの賑わいと商業の活性化を取り戻すため都市計画道路の整備や周辺道路の整備を進めてきた。
3. 人が歩きやすい歩行空間を整備するため、バリアフリー化や電線の地中化を進めている。

○課題

1. 今後の都市計画道路の整備については重点的に推進すべき路線および路線の意味づけを明確にしつつ、より効率的、計画的なみちづくを検討する必要がある。
2. 市内には歴史、文化的施設及び観光資源が多く点在しているものの回遊する交通ネットワークが望まれる。
3. 高度成長期に整備された道路や道路施設が老朽化をむかえ、また歩道幅が狭いなどの現代ニーズに合わない道路が多いことから、計画的な道路の更新と維持管理を図る必要がある。

②ー2 地域の目指すべき将来像

大阪府池田市

1. 観光資源への回遊路の整備により、バリアフリー、交通安全施設の整備を推進し、安全で快適な歩行空間を確保することが出来、また景観に配慮した道路整備が図られ、市民及び来街者に自然環境や歴史的、文化資源を観光し、楽しんでもらえると共にまちの活性化を図る事。
2. 老朽化をむかえる道路や道路施設について、時代の背景や住民のニーズなどに配慮し、計画的に機能更新や延命化対策を図ることにより市民の生活と安全を守ることが出来る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

大阪府池田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・歴史、文化的施設及び観光資源を回遊する交通ネットワークの整備。	・安全で快適な歩行空間を確保することが出来、また景観に配慮した道路整備が推進され、まちの活性化を図ることが出来る。	
・施設横断的な政策課題	・これまでに蓄積されてきた社会資本ストックの老朽化が急速に進行しており、維持管理、更新費の増大は必至の状況。	・計画的な維持管理をすることにより、市民の生活、安全が確保出来る。	